

自然が循環するように、つながる人の
想いと行動で拓かれていく未来…。



帯広

bihiro Gastronomy

ガストロノミー

鈴木浩介 長谷川京子

南出凌嘉 渡辺大 佐野岳 濱田龍臣 坂口涼太郎 小松利昌 三濃川陽介 田畑智子
瀧本美織

監督・脚本：杉山嘉一

音楽：名渡山 遼

制作：帯広ガストロノミー制作実行委員会

協賛：東日本電信電話株式会社 よつ葉乳業株式会社 サッポロビール株式会社北海道本部 帯広観光コンベンション協会 帯広市川西農業協同組合

十勝毎日新聞社 日本航空株式会社 東洋 TAXI 有限会社 十勝バス株式会社 十勝フードトラック協会

協力：十勝シティデザイン株式会社 帯広商工会議所 株式会社リープス 帯広畜産大学 株式会社満寿屋商店 北海道ホテル 株式会社平和園 株式会社藤丸

後援：帯広市 企画・原案・プロデュース・制作総指揮：原田俊英（株式会社WOWOWプラス） 制作著作：株式会社WOWOWプラス

途切れてしまった
つながりが
出会いを循環
また結ばれる

STORY

独創的なアイデアと秀でたプログラミング能力を持ちつつも、極端な人見知りで口下手ゆえに変わり者？として評判の天笠航平は、5年前に知己朋友な愛する妻を病で亡くして以来、その喪失感によって息子の黎生と向き合う事が出来なくなっていた。

哀しみを紛らわせるように仕事に没頭した結果、長年の親友であり、自分とは真逆な社交的で交渉上手な黒岩繁と共に10年前に独立して立ち上げたIT会社は急成長を遂げ、いわゆる「IT長者」と呼ばれる程になったが、その反面、黎生との距離と心はどんどん離れていき、同じ家に住みながらも今では会話も今ではする事もなく、彼の世話は専ら家政婦の朝日奈美冴に任せきりだ。

美冴は長年、面倒を見てきた黎生に情愛を抱きつつも、プロの家政婦として航平と黎生の親子関係に決して口は挟みまいと心に決めていたが、ある日その誓いが破られる出来事が。

それは航平が独立して以来、腹心の部下だった都築正路から送られてきたチーズがきっかけだった。

社内で北海道帯広市や十勝管内でのITと先進的な農畜産業発展の可能性を模索していた都築は、帯広市に滞在している内にすっかりチーズの美味しさと同地の「美味しいものを作る」という志に魅了され、遂には自らも「この地でチーズ造

りをしたい」と思うようになり、航平の会社を三年前に退職していた。そして遂に自身が納得するチーズを作り出す事に成功し、工房を立ち上げたと言う都築は、その自信作を真っ先に航平に味わって欲しいとチーズを送ってきたのだ。

何の経験もなかった都築が三年掛けて創り上げた味に感動していると、美冴が焼いたチーズの匂いに誘われ部屋から出てきた黎生は「自分にも作って欲しい」とだけ美冴に告げ、自室に戻っていく。

顔を合わせても自分の息子に声を掛ける事も出来ない航平。父親としての航平の存在を完全に無視したかのような様子の黎生。

そんな二人を見兼ねた美冴は、自分の信条を破り、学校に行った黎生の部屋を航平に見せる。その光景に航平は愕然とした。航平と黎生の繋がりとはもはや金しかなかった。与えられる多額の小遣いや提供された様々なソフトやデバイスで、家にいながら殆どの物が手に入る黎生の部屋には、開封されずに置き去りとなった商品箱の数々が転がり、消費に塗れた生活がそこにはあった。

亡き妻に似て穏やかで手のかからない息子…だとばかり思っていた黎生の現実を突き付けられ、何とかしなければ…という父親らしい感情がやっと首をもたげたかけた航平は、黒岩と美冴のバックアップを得て、覚悟を決めた航平の息子との絆を取り戻す十勝帯広の旅が始まる。

とかち 十勝・帯広とは

帯広市は、北海道東部の十勝地方のほぼ中央に位置する、人口約17万人のまちです。

また、農業を主要産業とする十勝地方（約34万人、1市16町2村）の中心地であり、農産物集積地、商業都市としての役割を担っています

